

1. 16・17世紀、近代合理主義思想に基づき自然科学の研究が急速に発達し、
その成果が社会・経済に大きな進歩を促した一大変化。 1
2. 「理性の光」に照らして、前近代的で不合理な権威・思想や制度・慣習
を批判し、人間社会の進歩を信じる思想。 2
3. 産業革命期の織機や紡績機の発明・改良に典型的な「技術革新」。 3
4. 環境・資源問題に対処するために、必要性が高まっている新しい倫理。 4
5. 次の世代に対して、今の世代が「つけ」を回さない責任を負うこと。 5
6. 高度情報化問題に対処するために、必要性が高まっている新しい倫理。 6
7. 第一次産業（農・林・水産）中心の前近代において重視された、共同体
のメンバー同士を結びつける二つのつながり。 7
8. 高齢者（65歳以上）の、総人口に占める割合が14%以上の社会。 8
9. 高齢者（65歳以上）の、総人口に占める割合が7%以上の社会。 9
10. **BOOK** 20世紀、米国の社会学者リースマンの主著、大衆社会を分析。 10
11. **PERSON** 20世紀、米国の社会学者。大衆社会の人間が他人指向型にな
っていることなどを指摘。 11
12. リースマンが、現代大衆社会に生きる人々を、「孤独と不安から他者の
承認を強く要求し、その評価を生きる基準とする」と類型化したもの。 12
13. グローバル時代の国際社会において、その克服が課題になっている自民
族中心主義。複数民族を国民とする国家の、国内においても乗り越えられ
なければならない。 13

T. Q. 「科学技術の発達をもたらしたマイナス面を改善する倫理とは？」

T. A.

近代ヨーロッパの合理主義的な考え方がもたらした科学革命や産業革命は、私たちの生活を物質的に豊かにする一方で、地球規模の環境問題を招いて生態系を破壊したり、高度情報化にともなうネット社会の人権侵害などの問題を現代に生じさせた。そこで現代では、環境倫理や情報倫理の必要性が叫ばれている。